

S F 型 ハイドロサイクロン

取扱説明書

注意

ハイドロサイクロンセパレーターの運転・点検及び修理を行う前に説明書を必ずお読みください。

発売元：株式会社 田中製作所

住 所：〒243-0402 神奈川県海老名市柏ヶ谷 422-9

電 話：046-231-5258（代表）

F A X：046-232-8208

U R L： <https://www.tanaka-tnk.com/>

1. 仕様

型式	S F - 6 型
濾過容量	6 0 L / min (流入圧 0.15MPa 水道水の場合)
濾過液	水溶性液及び低粘度不水溶性液
濾過液使用可能粘度	5 cSt 以下
サイクロン流入圧	0.15~0.25MPa
サイクロン吐出圧	0.01~0.03MPa
流入口口径	1B
流出口口径	1B
塗装	錆止のみ

2. セットアップ

A. セットアップの前にご用意してください。

- ・ サイクロン本体
- ・ 調整用バルブ流入側 1 個 流出側 1 個
- ・ 圧力計 60AT1/4×0.25MPa 流入側 1 個 流出側 1 個
- ・ 各配管部品

B. サイクロンヘッドにある矢印で「流入口」「流出口」を確認する。

C. ポンプ⇒流入側調整バルブ⇒流入側圧力計⇒サイクロン⇒流出側圧力計
⇒流出側調整バルブのレイアウトで配管をする。(クリーン液はタンクへ開放すること。) *次頁、【セットアップ参考図】参照。

D. クーラント液 (以下液) がタンク内及びスラッジタンクにあることを確認する。

3. 試運転

A. ポンプの回転方向に注意し、各バルブを全開にする。サイクロンスラッジ排出口から液が排出していることを確認する。

4. 調整

A. 流入圧、吐出圧を各バルブにより調整する。

流入圧=0.15~0.25MPa

吐出圧=0.01~0.03MPa

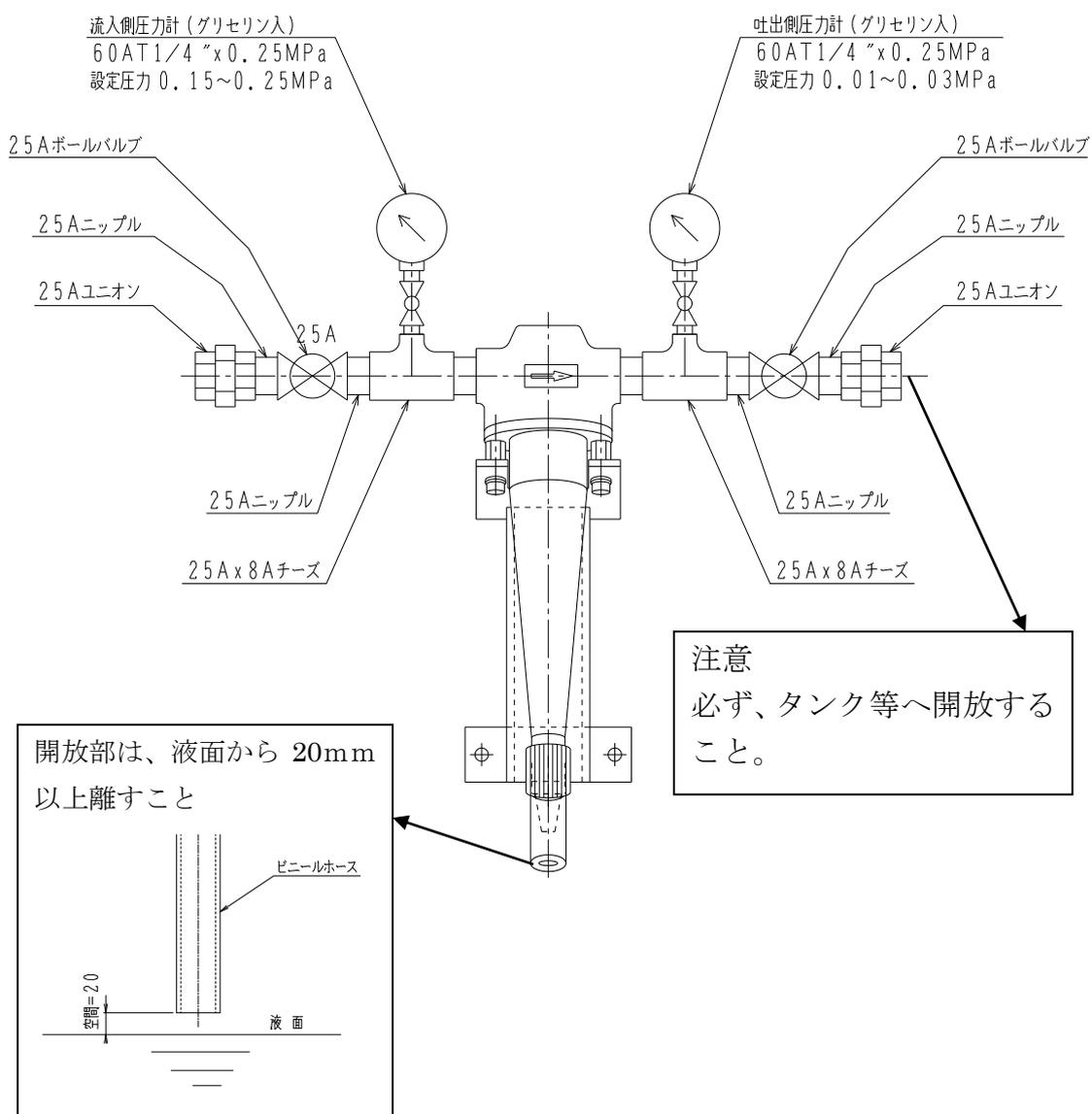
注意: 吐出圧力が低いとサイクロン先端部から排出量が少なく、サイクロン内部にスラッジが詰まる原因となります。必ず調整してください。

5. 注意事項

- A. 大きな切粉、カール状の切粉、長い切粉、木片、糸屑、ウエス等は詰りの原因となります。必ず前処理で除去してください。
- B. タンク内の液量は常に十分な量を確保してください。
- C. 高粘度液はスラッジ分離が不可能です。

【セットアップ参考図】

*注 セットアップ参考図ですので、取り付け架台・圧力計・配管等はSF-6 本体には付属されていません。



6. サイクロンの目詰り

サイクロン先端排出内部及び流入部内部に異物が詰まると、先端部からのスラッジ液排出量が減少し濾過能力がなくなります。

下記の要領で取り除いてください。

- A. 先端部の詰り＝長い切粉、カール状の切粉が考えられます。
- ① サイクロン先端部ノズルを回し内部のゴムノズルごと外します。
 - ② ノズル・ゴムノズル内部及びサイクロン先端部内の詰り原因を除去します。
 - ③ ノズル・ゴムノズルを元に戻します。
- B. 流入部内部の詰り（先端部に詰りがない場合）＝木片、ウエス、大きな切粉が考えられます。
- ① サイクロンヘッドとサイクロン筒部を止めている袋ナット及び、フランジを外します。
 - ② サイクロン筒部を下側に引き出します。この時Oリング（パッキン）の紛失に十分注意してください。
 - ③ サイクロンヘッド、サイクロン筒部流入口の詰り原因を除去します。
 - ④ Oリングに注意して元の状態に戻します。
 - ⑤ 袋ナットの締め付けは交互に行い、均等に締め付けてください。